

ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)
(成長型／安定型／分配型)

追加型投信／内外／資産複合

基準日：2026年8月31日

「成長型」の運用状況

信託期間：2006年11月28日 から 無期限
決算日：毎年5月15日および11月15日(休業日の場合翌営業日) 回次コード：4723
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2026年8月31日現在

基準価額	13,595 円
純資産総額	43億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	+2.0 %
3カ月間	+1.3 %
6カ月間	+6.3 %
1年間	+27.9 %
3年間	+66.6 %
5年間	+93.0 %
10年間	+214.1 %
設定来	+258.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～27期	合計：2,610円
第28期(20/11)	50円
第29期(21/05)	1,300円
第30期(21/11)	1,300円
第31期(22/05)	550円
第32期(22/11)	600円
第33期(23/05)	300円
第34期(23/11)	650円
第35期(24/05)	1,250円
第36期(24/11)	800円
第37期(25/05)	250円
第38期(25/11)	1,300円
第39期(26/05)	650円
分配金合計額	設定来：11,610円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産クラス別構成		
資産クラス	ファンド数	比率
外国株式	3	41.5%
国内株式	3	29.3%
外国債券	4	11.6%
国内債券	1	5.7%
国内リート	1	4.6%
コモディティ	1	3.4%
外国リート	1	2.9%
コール・ローン、その他		1.0%
合計	14	100.0%

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

「安定型」の運用状況

信託期間：2006年11月28日 から 無期限
決算日：毎年5月15日および11月15日（休業日の場合翌営業日）
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2026年8月31日現在

基準価額	11,613 円
純資産総額	11億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	+0.1 %
3カ月間	+0.2 %
6カ月間	+1.6 %
1年間	+11.4 %
3年間	+24.1 %
5年間	+30.9 %
10年間	+67.3 %
設定来	+95.1 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金
第1～27期	合計：2,150円
第28期	(20/11) 50円
第29期	(21/05) 500円
第30期	(21/11) 600円
第31期	(22/05) 150円
第32期	(22/11) 100円
第33期	(23/05) 50円
第34期	(23/11) 150円
第35期	(24/05) 550円
第36期	(24/11) 300円
第37期	(25/05) 50円
第38期	(25/11) 550円
第39期	(26/05) 300円
分配金合計額	設定来：5,500円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産クラス別構成		
資産クラス	ファンド数	比率
国内債券	2	37.3%
外国債券	4	22.7%
国内株式	3	13.9%
外国株式	2	12.0%
国内リート	1	4.9%
コモディティ	1	4.7%
外国リート	1	3.0%
コール・ローン、その他		1.6%
合計	14	100.0%

「分配型」の運用状況

信託期間：2006年11月28日 から 無期限

決算日：毎年1、3、5、7、9、11月の各15日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：4725

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2026年8月31日現在

基準価額	10,859 円
純資産総額	58億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-0.8 %
3カ月間	+0.5 %
6カ月間	+2.2 %
1年間	+14.7 %
3年間	+35.6 %
5年間	+50.9 %
10年間	+100.2 %
設定来	+135.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)		分配金
第1～106期	合計：	5,000円
第107期	(24/09)	15円
第108期	(24/11)	50円
第109期	(25/01)	15円
第110期	(25/03)	15円
第111期	(25/05)	15円
第112期	(25/07)	30円
第113期	(25/09)	200円
第114期	(25/11)	350円
第115期	(26/01)	350円
第116期	(26/03)	150円
第117期	(26/05)	150円
第118期	(26/07)	150円
分配金合計額		設定来：6,490円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産クラス別構成		
資産クラス	ファンド数	比率
外国債券	5	58.5%
外国株式	2	13.1%
外国リート	1	11.6%
国内リート	1	4.8%
国内債券	1	4.6%
コモディティ	1	3.4%
国内株式	1	3.2%
コール・ローン、その他		0.7%
合計	12	100.0%

《8月の資産クラス別騰落率》 成長型		
資産クラス		騰落率
国内株式	ファンド	+4.9%
	参考指標: TOPIX(配当込み)	+4.9%
海外株式	ファンド	+2.2%
	参考指標1: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	+2.5%
	参考指標2: MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	+7.9%
国内債券	ファンド	-0.7%
	参考指標: NOMURA-BPI総合	-0.8%
海外債券	ファンド	-0.9%
	参考指標1: FTSE世界国債インデックス(除く日本)	-1.2%
	参考指標2: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド	-1.7%
国内リート	ファンド	-2.9%
	参考指標: 東証REIT指数(配当込み)	-2.9%
海外リート	ファンド	-3.5%
	参考指標: S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)	-3.4%
コモディティ	ファンド	+5.8%
	参考指標: ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)	+5.9%

※参考指標1は先進国、2は新興国を対象とした指標です。資産クラス別騰落率は、組入ファンドの基準価額・組入比率を基に計算した概算値となります。
※MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)については、国別指数(現地通貨ベース)、為替レート、国別構成比を基に、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)、ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)については、米ドルベース指数と為替レートを基に大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。

出所：大和ファンド・コンサルティング

成長型 組入ファンド							
資産クラス		比率	運用会社名	投資信託証券(ファンド名)	騰落率		
					1カ月間	3カ月間	6カ月間
国内株式	29.3%	5.6%	大和アセットマネジメント	ダイワ中小型株ファンド	+8.3%	-4.4%	-0.1%
		11.9%	アセットマネジメントOne	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	+3.2%	+0.6%	+8.0%
		11.9%	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	日本長期成長株集中投資ファンド	+5.0%	+6.0%	+10.6%
海外株式	41.5%	9.7%	大和アセットマネジメント	ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	-2.0%	-0.5%	-0.9%
		29.0%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	+3.0%	+3.2%	+12.8%
		2.9%	ニューメリック・インバスターズ・エルエルシー	マン・システムティック・エマージング・マーケット・エクイティ クラスI	+8.7%	-1.6%	+12.3%
国内債券	5.7%	5.7%	明治安田アセットマネジメント	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	-0.7%	-0.8%	-3.2%
海外債券	11.6%	1.9%	三井住友DSアセットマネジメント	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	-1.6%	+0.7%	+3.0%
		3.0%	フランクリン・テンブルトン・ジャパン	ブランディワイン外国債券ファンド	-1.1%	+2.1%	+3.4%
		4.8%	大和アセットマネジメント	ダイワ中長期世界債券ファンド	-1.5%	-0.6%	-1.1%
		1.9%	ロード・アベット・アンド・カンパニーエルエルシー	ロード・アベット・ハイイールド・ファンド クラスI-円建て累積投資クラス	+1.4%	+1.1%	+4.0%
国内リート	4.6%	4.6%	大和アセットマネジメント	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	-2.9%	+0.6%	-7.7%
海外リート	2.9%	2.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ海外REIT・マザーファンド	-3.5%	+1.8%	+6.6%
コモディティ	3.4%	3.4%	ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	ダイワ“RICI”ファンド*	+5.8%	+5.6%	+30.1%

※各組入ファンドの組入比率、騰落率は、ライフハーモニー(成長型)における組入資産の評価時点の数値です。
※運用会社名および投資信託証券(ファンド名)の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
※上記*のファンド騰落率は、ライフハーモニー(成長型)の基準価額の算出方法に合わせて、円ベースに換算した数値です。
※2024年11月11日より「マン・ニューメリック・エマージング・マーケット・エクイティ クラスI」から「マン・システムティック・エマージング・マーケット・エクイティ クラスI」に名称変更しております。

《8月の資産クラス別騰落率》 安定型

資産クラス		騰落率
国内株式	ファンド	+4.8%
	参考指標: TOPIX(配当込み)	+4.9%
海外株式	ファンド	+1.0%
	参考指標1: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	+2.5%
国内債券	ファンド	-0.7%
	参考指標: NOMURA-BPI総合	-0.8%
海外債券	ファンド	-1.2%
	参考指標1: FTSE世界国債インデックス(除く日本)	-1.2%
	参考指標2: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド	-1.7%
国内リート	ファンド	-2.9%
	参考指標: 東証REIT指数(配当込み)	-2.9%
海外リート	ファンド	-3.5%
	参考指標: S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)	-3.4%
コモディティ	ファンド	+5.8%
	参考指標: ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)	+5.9%

※参考指標1は先進国、2は新興国を対象とした指標です。資産クラス別騰落率は、組入ファンドの基準価額・組入比率を基に計算した概算値となります。
 ※MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)については、国別指数(現地通貨ベース)、為替レート、国別構成比を基に、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)、ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)については、米ドルベース指数と為替レートを基に大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

安定型 組入ファンド

資産クラス		比率	運用会社名	投資信託証券(ファンド名)	騰落率		
					1カ月間	3カ月間	6カ月間
国内株式	13.9%	2.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ中小型株ファンド	+8.3%	-4.4%	-0.1%
		6.0%	アセットマネジメントOne	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	+3.2%	+0.6%	+8.0%
		5.0%	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	日本長期成長株集中投資ファンド	+5.0%	+6.0%	+10.6%
海外株式	12.0%	4.9%	大和アセットマネジメント	ダイワノGQGグローバル・エクイティ	-2.0%	-0.5%	-0.9%
		7.1%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイノサンダース・グローバルバリュー株式ファンド	+3.0%	+3.2%	+12.8%
国内債券	37.3%	18.7%	マニライフ・インベストメント・マネジメント	マニライフ日本債券アクティブ・ファンドM	-0.7%	-0.9%	-3.7%
		18.6%	明治安田アセットマネジメント	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	-0.7%	-0.8%	-3.2%
海外債券	22.7%	5.0%	フランクリン・テンブルトン・ジャパン	ブランディワイン外国債券ファンド	-1.1%	+2.1%	+3.4%
		4.9%	三井住友DSアセットマネジメント	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	-1.6%	+0.7%	+3.0%
		10.8%	大和アセットマネジメント	ダイワ中長期世界債券ファンド	-1.5%	-0.6%	-1.1%
		2.0%	ロード・アベット・アンド・カンパニーエルエルシー	ロード・アベット・ハイイールド・ファンドクラスI円建て累積投資クラス	+1.4%	+1.1%	+4.0%
国内リート	4.9%	4.9%	大和アセットマネジメント	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	-2.9%	+0.6%	-7.7%
海外リート	3.0%	3.0%	大和アセットマネジメント	ダイワ海外REIT・マザーファンド	-3.5%	+1.8%	+6.6%
コモディティ	4.7%	4.7%	ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	ダイワ“RICI”ファンド*	+5.8%	+5.6%	+30.1%

※各組入ファンドの組入比率、騰落率は、ライフハーモニー(安定型)における組入資産の評価時点の数値です。
 ※運用会社名および投資信託証券(ファンド名)の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 ※上記*のファンド騰落率は、ライフハーモニー(安定型)の基準価額の算出方法に合わせて、円ベースに換算した数値です。

《8月の資産クラス別騰落率》 分配型		
資産クラス		騰落率
国内株式	ファンド	+3.2%
	参考指標: TOPIX(配当込み)	+4.9%
海外株式	ファンド	+0.7%
	参考指標1: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	+2.5%
国内債券	ファンド	-0.7%
	参考指標: NOMURA-BPI総合	-0.8%
海外債券	ファンド	-0.8%
	参考指標1: FTSE世界国債インデックス(除く日本)	-1.2%
	参考指標2: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド	-1.7%
国内リート	ファンド	-2.9%
	参考指標: 東証REIT指数(配当込み)	-2.9%
海外リート	ファンド	-3.6%
	参考指標: S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)	-3.4%
コモディティ	ファンド	+5.8%
	参考指標: ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)	+5.9%

※参考指標1は先進国、2は新興国を対象とした指標です。資産クラス別騰落率は、組入ファンドの基準価額・組入比率を基に計算した概算値となります。
 ※MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)については、国別指数(現地通貨ベース)、為替レート、国別構成比を基に、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)、ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)については、米ドルベース指数と為替レートを基に大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

分配型 組入ファンド							
資産クラス		比率	運用会社名	投資信託証券(ファンド名)	騰落率		
					1カ月間	3カ月間	6カ月間
国内株式	3.2%	3.2%	アセットマネジメントOne	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	+3.2%	+0.6%	+8.0%
海外株式	13.1%	6.0%	大和アセットマネジメント	ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	-2.0%	-0.5%	-0.9%
		7.1%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	+3.0%	+3.2%	+12.8%
国内債券	4.6%	4.6%	明治安田アセットマネジメント	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	-0.7%	-0.8%	-3.2%
海外債券	58.5%	30.0%	大和アセットマネジメント	ダイワ世界債券ファンドM	-0.8%	+0.3%	+0.8%
		7.9%	三井住友DSアセットマネジメント	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	-1.6%	+0.7%	+3.0%
		4.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ米ドル建て新興国債券ファンドM	-1.7%	+0.4%	+1.4%
		8.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ中長期世界債券ファンド	-1.5%	-0.6%	-1.1%
		7.0%	ロード・アベット・アンド・カンパニーエルエルシー	ロード・アベット・ハイイールド・ファンドクラスI-円建て累積投資クラス	+1.4%	+1.1%	+4.0%
国内リート	4.8%	4.8%	大和アセットマネジメント	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	-2.9%	+0.6%	-7.7%
海外リート	11.6%	11.6%	大和アセットマネジメント	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	-3.6%	+1.6%	+4.4%
コモディティ	3.4%	3.4%	ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	ダイワ“RICI”ファンド*	+5.8%	+5.6%	+30.1%

※各組入ファンドの組入比率、騰落率は、ライフハーモニー(分配型)における組入資産の評価時点の数値です。
 ※運用会社名および投資信託証券(ファンド名)の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 ※上記*のファンド騰落率は、ライフハーモニー(分配型)の基準価額の算出方法に合わせて、円ベースに換算した数値です。

※TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
 ※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

◆「ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(成長型)」、「同(安定型)」、「同(分配型)」を、それぞれ「成長型」、「安定型」、「分配型」という場合があります。

【市況概況】

（国内株式）

8月のTOPIX（東証株価指数、配当込み）は、4.9%の上昇となりました（*1）。

国内株式市場は上昇しました。需給改善や米ハイパースケーラーの好調な決算を受け、過剰投資懸念の後退を背景に、AI・半導体関連株が買い戻され、月半ばにかけて相場をけん引しました。その後は、国内長期金利の上昇がグロース株を中心に株式バリュエーションの重荷となり、相場が急落する場面も見られました。もっとも、金利上昇が一服すると、幅広い業種で4-6月期決算が良好だったこともあり、月末にかけて堅調に推移しました。

（海外株式）

8月のMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、現地通貨建）は4.7%の上昇となりました（円建では2.5%上昇）（*2）。

先進国株式市場では、米国株、欧州株とも上昇しました。ハイパースケーラーの好決算を受けて過剰投資懸念が後退し、米国株のAI・半導体関連などが買い戻されたほか、欧州株も企業業績が評価され、月半ばにかけて堅調に推移しました。その後、原油高によるインフレ再加速懸念や利上げ観測から長期金利が上昇し、欧州株は上昇幅を縮小しました。一方、米国株は、財務省による国債買い戻しの増額発表を受けて金利上昇が一服し、月末にかけて底堅く推移しました。業種別では、素材や情報技術などが上昇しました。

新興国株式市場は、韓国や台湾が上昇しました。

（国内債券）

8月のNOMURA-BPI総合は、0.8%の下落となりました（*1）。

国内債券市場では、金利は上昇しました。日米協調での為替介入実施を受けて、日銀が円安是正のために早期利上げを行うとの見方が広がったことから、金利は上昇しました。また、中東情勢緊迫化の長期化による原油価格の上昇も金利上昇要因となりました。

（海外債券）

8月のFTSE世界国債インデックス（除く日本）（現地通貨建）は0.1%の上昇となりました（円建では1.2%下落）（*2）。

先進国債券市場では、長期金利は米国では前月比ほぼ横ばい、欧州ではおおむね上昇（債券価格は下落）となりました。米国では、月前半は雇用統計など軟調な経済指標を受けて金利は低下する場面もありましたが、中東情勢の緊迫化による原油価格上昇を背景としたインフレ懸念から、その後は金利が上昇する場面もみられました。欧州では、イラン情勢を背景とした資源価格の上昇がインフレ率の上振れ懸念となり、ECB（欧州中央銀行）による追加利上げが意識される中、金利は上昇しました。また、ドイツの4-6月期GDP（国内総生産）が上方修正され、景気の底堅さが示されたことなども金利の上昇要因となりました。

社債市場では、投資適格債、ハイ・イールド債のクレジット・スプレッド（国債に対する利回りの上乗せ幅）はともに縮小しました。

米ドル建て新興国債券市場は、スプレッド（米国国債に対する利回りの上乗せ幅）は縮小しました。

（国内リート）

8月の東証REIT指数（配当込み）は、2.9%の下落となりました（*3）。

国内リート市場は下落しました。7月にディフェンシブなセクターとして選好されたJ-REIT市場は、AI・半導体関連株が反発する中で、月初に下落しました。その後は、決算発表でオフィスやホテルの堅調な業績動向が確認されたことが支えとなったものの、日銀の利上げ前倒し観測などから国内長期金利が上昇し、軟調に推移しました。

（海外リート）

8月のS&P先進国REIT指数（除く日本）（配当込み、米ドル建）は、2.9%の下落となりました（円建では、3.4%の下落）（*1）。

海外リート市場は下落しました。前月に見られたハイテク株からの資金シフトの動きは一服し、REIT市場は多くの国・地域で軟調に推移しました。特に豪州では、金利上昇圧力が意識されたことから、相対的に大きな下落となりました。

※資産クラスごとの参考指数の騰落率の計算に当たっては、ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせて計算を行います。（*1）国内株式・債券、海外リート、為替：前月の最終営業日の前営業日から、当月の最終営業日の前営業日までの期間について計測しています。（*2）海外株式・債券、コモディティ：前月の最終営業日の前々営業日から、当月の最終営業日の前々営業日までの期間について計測しています。（*3）国内リート：前月の最終営業日から、当月の最終営業日までの期間について計測しています。

出所：大和ファンド・コンサルティング

【市況概況】

（コモディティ）

8月のロジャーズ国際コモディティ指数®（RICI®）（米ドル建）は、6.4%の上昇となりました（円建では、5.9%の上昇）（*2）。

商品市況は上昇しました。中東情勢の緊迫化に伴う供給不安を背景に原油などのエネルギー価格が上昇したほか、地政学リスクの高まりやインフレ懸念に伴う安全資産需要から、金などの貴金属も上昇しました。

（為替）

8月の外国為替市場は、対円で米ドル、ユーロとも下落（円高）しました。

為替市場では、米ドルは、日米の協調介入を受けて月初は急速に円高が進行しました。その後は介入警戒の後退と根強い円安圧力の中で、円はじり安の展開となりました。米国の利上げ観測後退や米財務省による長期国債の買い戻し枠拡大方針などが米ドル安に作用する場面もありましたが、月末にかけては米国で利上げ観測が再燃したことで、米ドル円は下げ幅を縮小しました。ユーロにおいても、日本の当局による円買い介入で月初は円高が進行しました。その後、イラン情勢を背景とした資源価格の上昇やECB（欧州中央銀行）の追加利上げ観測からユーロ円は下げ幅を縮小しました。新興国通貨は、対円でまちまちな動きとなりました。

※資産クラスごとの参考指数の騰落率の計算に当たっては、ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせて計算を行います。（*1）国内株式・債券、海外リート、為替：前月の最終営業日の前営業日から、当月の最終営業日の前営業日までの期間について計測しています。（*2）海外株式・債券、コモディティ：前月の最終営業日の前々営業日から、当月の最終営業日の前々営業日までの期間について計測しています。

【成長型】

（ファンド配分）

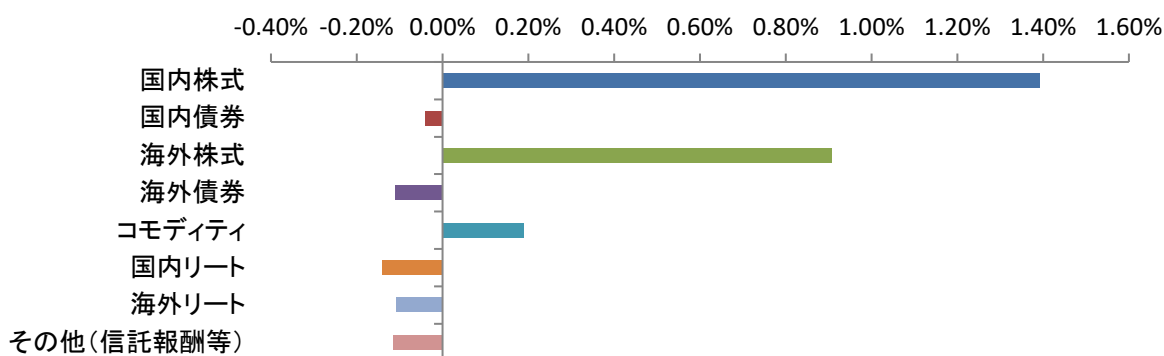
資産配分及びファンド配分については、前月の方針を継続しました。

（運用コメント）

当月のライフハーモニー（成長型）の基準価額騰落率は2.0%となりました。

純資産総額に対して約29%組み入れている国内株式ファンドなどがプラス寄与しました。

成長型：資産別リターン寄与度



（今後の運用方針）

引き続き成長性を重視した資産配分、組入ファンドの配分を行います。

出所：大和ファンド・コンサルティング

【安定型】

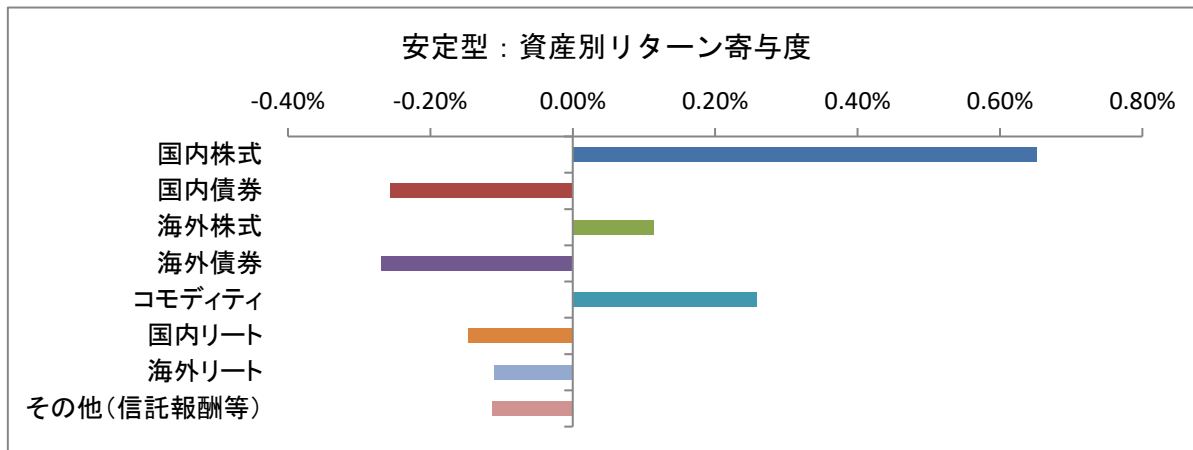
（ファンド配分）

資産配分及びファンド配分については、前月の方針を継続しました。

（運用コメント）

当月のライフハーモニー（安定型）の基準価額騰落率は0.1%となりました。

純資産総額に対して約14%組み入れている国内株式ファンドなどがプラス寄与しました。一方、約23%組み入れている海外債券ファンド、約37%組み入れている国内債券ファンドなどがマイナス寄与しました。



（今後の運用方針）

引き続きリスク分散を重視した資産配分、組入ファンドの配分を行います。

【分配型】

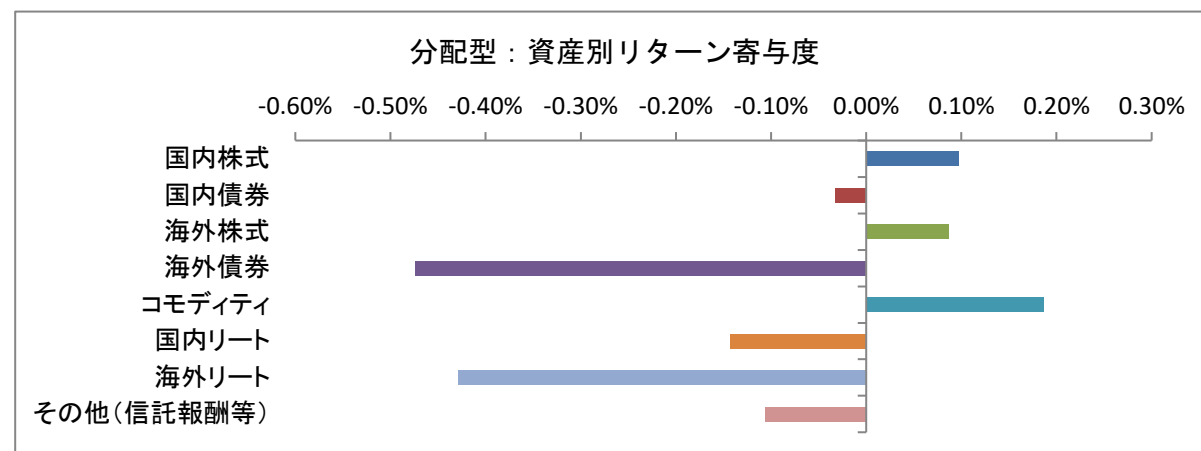
（ファンド配分）

資産配分及びファンド配分については、前月の方針を継続しました。

（運用コメント）

当月のライフハーモニー（分配型）の基準価額騰落率は-0.8%となりました。

純資産総額に対して約59%組み入れている海外債券ファンド、約12%組み入れている海外リートファンドなどがマイナス寄与しました。



（今後の運用方針）

引き続き分配を重視した資産配分、組入ファンドの配分を行います。

出所：大和ファンド・コンサルティング

大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧		
資産クラス	投資信託証券(ファンド名) 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
国内株式	ダイワ中小型株ファンド	■ 徹底的なボトムアップにより、競争優位性や成長実現、経営者の意欲等を確認し、確信度の高まった企業に選別投資することにより、安定的な収益確保が期待できる。
	大和アセットマネジメント株式会社	
	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	■ 豊富な経験、知識、運用ノウハウを持つ運用担当者により、多様な投資アイデアをもとに、安定的なリターンを獲得が期待できる。
	アセットマネジメントOne株式会社	
海外株式	日本長期成長株集中投資ファンド	■ 高い確信度を持った中長期グロース銘柄への集中投資が一貫して行われており、バリュエーション・タイミングに注意してエントリーを行うため、下値リスクが抑制され安定したパフォーマンスを実現している。
	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	
	ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	■ 持続的な利益成長が見込める中長期クオリティグロース銘柄に投資し、環境変化に機動的な銘柄入れ替えで対応することで安定的な超過収益の獲得が期待される。
	大和アセットマネジメント株式会社	
国内債券	マン・システムティック・エマージング・マーケット・エクイティ	■ 株価がオーバーシュートしやすい新興国株式市場において、合理的なモデルできめ細かく収益機会をとらえていることから、安定的に超過収益を獲得している。
	ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー	
	ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	■ 割安株投資に関する長年の運用経験を活かした銘柄選択を行っており、安定したリターンの獲得が期待できる。
	ニッセイアセットマネジメント株式会社	
国内債券	マニユライフ日本債券アクティブ・ファンドM	■ 多様な定量分析を活用した金利戦略と、ダウンサイドリスクに配慮しつつ、リスク対比でのリターン獲得を目指すクレジット戦略をバランスよく組み合わせることにより、トータルリターンの獲得が期待できる。
	マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社	
	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	■ 多様な定量分析と、綿密なファンダメンタル分析を基に、金利戦略とクレジット戦略をバランスよく組み合わせることにより、トータルリターンの獲得が期待できる。
	明治安田アセットマネジメント株式会社	

※投資信託証券(ファンド名)および運用会社名の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧		
資産クラス	投資信託証券(ファンド名) 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
海外債券	ダイワ世界債券ファンドM 大和アセットマネジメント株式会社	■ 明瞭(めいりょう)な運用プロセスの下、地域別の調査分析体制を有効に活用した規律ある運用が実践されており、安定した収益の確保を重視した運用についての経験と対応力も有している。
	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM 三井住友DSアセットマネジメント株式会社	■ 明確な運用哲学の下、新興国の債券・為替市場について深い知識と豊富な運用経験を持つ運用責任者が、合理的な投資判断を行っている。これにより収益機会を的確に捉えた超過収益の実現が期待される。
	ダイワ米ドル建て新興国債券ファンドM 大和アセットマネジメント株式会社	■ 明瞭(めいりょう)で規律ある運用プロセスの下、効率的な運用が実践されている。 ■ 十分な経験を有する運用者および組織により継続性が確保されている。
	ブランディワイン外国債券ファンド フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	■ 豊富な運用経験を持つ運用者により、一貫した投資哲学に基づく運用が実践されている。 ■ 大局的かつ中長期的な視点に基づくグローバル経済の分析により、割安な投資機会を的確に捉えた投資アイデアが創出され、ポートフォリオに反映されている。
	ダイワ中長期世界債券ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ 明瞭で規律ある運用プロセスの下、効率的な運用が実践されている。十分な経験を有する運用者および組織により継続性が確保されている。
	ロード・アベット・ハイイールド・ファンド ロード・アベット・アンド・カンパニーエルエルシー	■ 経験豊富な運用者がアナリストと協働し、トップダウンとボトムアップの観点からクレジットリスクを的確に判断している。
国内リート	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ 成長過程にあるJ-REIT市場の現状や個別銘柄の特性を十分に踏まえた上で、株式運用経験を活かした明瞭(めいりょう)な投資判断が実践されている。 ■ 銘柄構成の決定に際しては、組入銘柄における投資物件の用途等が偏らないように、全体のバランスについての配慮がなされている。
海外リート	ダイワ海外REIT・マザーファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ グローバルなリート市場の拡大が予想される中で、調査体制の拡充が図られており、幅広く投資機会を捉えることが期待される。 ■ アナリストの調査結果を踏まえた合理的な投資判断が運用者により実践されており、投資機会を的確に発見することが期待される。
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ グローバルなリート市場の拡大が予想される中で、調査体制の拡充が図られており、幅広く投資機会を捉えることが期待される。 ■ アナリストの調査結果を踏まえた合理的な投資判断が運用者により実践されており、投資機会を的確に発見することが期待される。 ■ 配当等収益の確保を重視した運用についての経験と対応力も有している。
コモディティ	ダイワ“RICI”ファンド ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	■ ロジャーズ国際コモディティ指数®の品目構成は、専門委員会において経済への重要度を考慮した上で決定されており、継続的にきめ細かい見直しが実施されている。また、対象品目は幅広くカバーされており、商品市況を表す指標として適格と考えられる。 ■ 内外の株式、債券、不動産と組み合わせた際に、効果的な価格変動リスクの低減が期待される。

※投資信託証券(ファンド名)および運用会社名の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- ・内外の株式・債券・リート（REIT）およびコモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- ・複数の投資信託証券への投資を通じて、内外の株式・債券・リートおよびコモディティに投資します。
- ・「ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型）」、「ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型）」、「ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型）」の3つのファンドがあります。
- ・資産配分、投資信託証券の選定、組入比率の決定にあたっては、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの投資助言を受け、これを行ないます。
- ・3つのファンドは、それぞれ年2回または年6回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

◆ベンチマークについて

・Russell/Nomura Mid - Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura Mid - Small Cap インデックスは、Russell/Nomura TotalMarket インデックスの時価総額下位銘柄からなり、全時価総額の約 50% を占めます。Russell/Nomura Mid - Small Cap インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、同指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社および Frank Russell Company に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社および Frank Russell Company は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等ならびに当ファンドおよび同指数に関連して行なわれる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

・MSCI コクサイ・インデックスおよび MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。本ファンドは、MSCI Inc.（「MSCI」）によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

・NOMURA-BPI とは、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPI の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等ならびに当ファンドおよび同指数に関連して行なわれる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

・JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（JP モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド）とは、J.P.Morgan Securities LLC が公表する債券指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。

・S&P 先進国 REIT 指数（除く日本、円換算）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

・Daiwa“RICI”Fund（ダイワ“RICI”ファンド）についての注記

「Daiwa“RICI”Fund」は James Beeland Rogers、Jim Rogers または Beeland Interests, Inc.（以下、当注記において、総称して「Beeland」といいます。）により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beeland はファンド購入者、すべての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。Beeland は Rogers International Commodity Index の決定、構成、算出において大和アセットマネジメント株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beeland はファンドが発行される時期、価格もしくは数量の決定またはファンドが換金されるもしくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与もしていません。Beeland はファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers」、「Rogers International Commodity Index」および「RICI」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers または Beeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。**

価格変動リスク・信用リスク
株価の変動

組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。

発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあり

	ます。新興国の株式市場は、欧米等の先進国の株式市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
価格変動リスク・信用リスク 公社債の価格変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。 特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。 ハイ・イールド債や新興国債券等の格付けの低い債券については、格付けの高い債券に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。
価格変動リスク・信用リスク リートの価格変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。
商品先物取引等による運用に伴う リスク	商品先物等の取引価格は、さまざまな要因（商品の需給関係の変化、天候、農業生産、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、疾病、伝染病、技術発展等）に基づき変動します（個々の品目により具体的な変動要因は異なります。）。 当ファンドの基準価額は、商品先物市場の変動の影響を受け、投資元本を下回ることがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

投資者が直接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 2.2%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.276% (税抜1.16%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.47%
	販売会社	年率0.65%
	受託会社	年率0.04%
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)	年率0%～1.15%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)	(成長型) 年率1.911%(1.2760%～2.4260%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。) (安定型) 年率1.741%(1.2760%～2.2891%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。) (分配型) 年率1.719%(1.2760%～2.2891%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

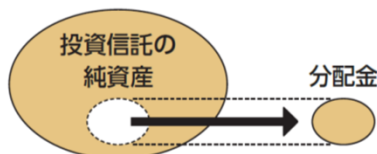
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。
スイッチング（乗換え）	「成長型」、「安定型」および「分配型」の間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、 信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	・ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型） 年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。 ・ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型） 年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。 ・ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型） 年 6 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

《収益分配金に関する留意事項》

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

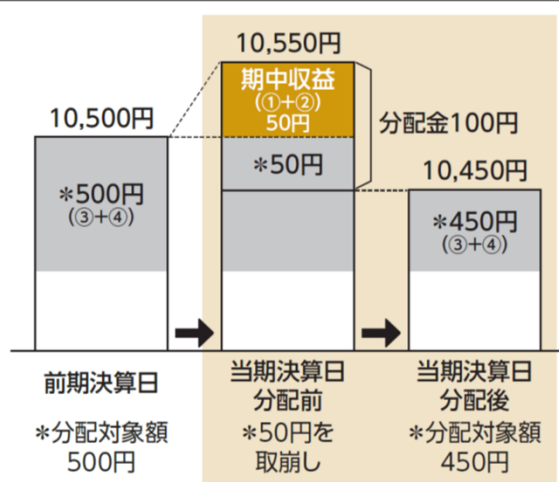
投資信託で分配金が支払われるイメージ



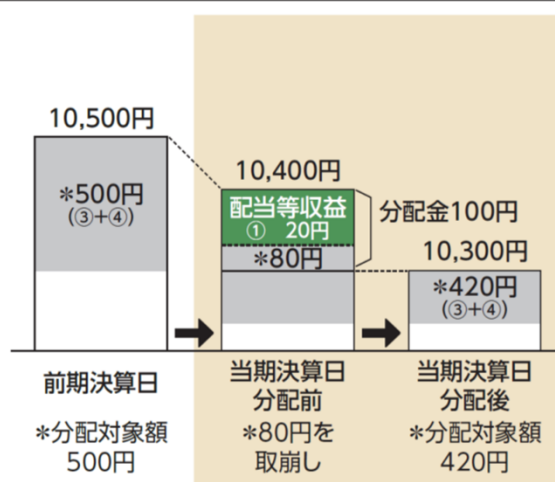
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

普通分配金	
投資者の購入価額 (当初個別元本)	元本払戻金 (特別分配金)
	分配金支払後 基準価額 個別元本

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

元本払戻金 (特別分配金)	
投資者の購入価額 (当初個別元本)	元本払戻金 (特別分配金)
	分配金支払後 基準価額 個別元本

普通分配金…………… 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)…………… 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。

また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

《当資料のお取り扱いにおけるご注意》

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の 9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型）
ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型）
ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。